月高だより

北海道札幌月寒高等学校
第　６６号
令和８年１１月６日発行
発行者　校長 黒島　　敏

考査が近づいてきました。全日は 11 日（水）から、定時は 17 日（火）からです。「テスト」というと嫌がる生徒ばかりかと思いきや、テスト好きな奇特な生徒も存在します。理由としては①早く帰れる②部活が休み③テストを解く時間は集中するからあっという間に終わる、などなど・・・。皆さんはどうでしょうかね。

ここ数年、ある中学校での「定期テスト廃止」の取り組みが全国に広がって、定期テストを廃止する学校も中・高問わずぼちぼち出てきているようですが・・・・。前任校でも職員会議で議題となりましたが、結構賛否があるようです。テスト廃止論者は「一夜漬けで取り組みテストは意味がない」推進論者は「テストがないと目的を持って勉強できない」とかが代表的な意見のようですが・・・皆さんはどう思いますか？

■読書の秋

図書局の生徒から「ブックトークで校長先生から何か本を紹介してほしい」と言われ、快く引き受けたは良いものの、何を紹介したらいいものか、なんとなく心の中に引っかかり、悩む日々・・・・。そんな時に、11 月 3 日の文化の日、HBC（TBS 系）の朝のニュースで「高校生の読書ランキング」を安住アナが紹介しているのが耳に入りました。

そのニュースの映像をネットで探したのですが見つからなかったので、YOUTHTIMEJAPAN　projectweb　による類似の記事を紹介。

男子が好きな本

①位　変な家（雨穴）　②位　君の膵臓をたべたい（住野よる）　③位　5 分後に意外な結末（桃戸ハル）
④位　君たちはどう生きるか（吉野　源三郎）　⑤位　人間失格（太宰治）

女子が好きな本

①位　あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら（汐見夏衛）　②位　変な家（雨穴）　③位　君の膵臓をたべたい（住野よる）　④位　夜が明けたら、いちばんに君に会いにいく（汐見夏衛）　⑤位　かがみの孤城（辻村深月）　人間失格（太宰治）

下線の作品は男女とも共通してランクインしているものです。映画やドラマで映像化された作品が多いように思いますが、男女とも『人間失格』がランクインしています。これは前述した TBS のニュースでも同様で、「なぜ高校生に『人間失格』が読まれているのか？」がニュース内で分析されていました。

うろ覚えですが「主人公の弱さや孤独、人間のもろさに、のほほんと生きてきた高校生が驚くからでは」というような分析でしたが、どうでしょうか？読んだことがある方はどんな感想を抱きますかね？

ちなみに太宰治の作品は著作権が切れているので、ネット上でもフリーで読むことができます。中編なので割と短時間で読めますよ。もしかすると、すぐ読めちゃうのと、「人間失格」というインパクトのあるタイトルが高校生に支持されているのかも？

私も数十年ぶりに読み返してみましたが、主人公の大庭葉蔵（おおば　ようぞう）のようなダメな人間は今までの人生で、身近なところでたくさん見てきたような気がします。有名なセリフ**「恥の多い生涯を送って来ました。」**こんな人たくさんいます。事実は小説よりも奇なり。

■定時制の学校公開

１１月４日(水)、定時制の学校紹介が行われました。保護者と本人、20 組以上、40 名超の参加者がありました。給食の試食は「チキンカツカレー」感想を読むと「おいしかった」との声多数。私も食べましたが確かにおいしい。

定時制の教頭先生からの学校説明の後、定時制の生徒会役員による学校生活の説明や、行事・部活の説明、校舎内の案内が行われました。

参加した中学生や保護者の感想を見ると「生徒が自ら説明しているのが良かった」「自由な雰囲気で楽しそう」「先輩の説明が面白く、優しそうだった」などなど・・・。大変肯定的な意見が多かったです。来春お待ちしております。

もし、この通信を読んでいる中学生で「行きたかった・・・・」という方がいましたら、個別に対応しますので、本校定時制教頭までご連絡ください。

■あとがき

先日、昼休みの時間に、廊下から『北の国から』のテーマソングの熱唱が聞こえ、あまりの上手さに聞き惚れてしまいました。吹奏楽部の生徒でしょうか？

脚本家の倉本聰さんが 91 歳で亡くなり、そのお別れの会が先日富良野で行われたようです。たくさんの有名人が富良野に訪れ、また観光客も大勢行ったようでニュースになっていました。実家の母がそのニュースを見て「ずいぶん富良野は賑やかだったんだね～」とか言ってましたが、昭和 50 年代に、最初に『北の国から』が放送された当時は、“ああ～”とさだまさしの歌が流れるとすぐにチャンネルを変えていました。

当時は両親とも『北の国から』を「辛気くさいドラマだ」と話してましたね。確かに本放送の後の特番でも、五郎さんは借金の保証人になるし、丸太小屋は燃えるし、純や蛍は異性関係でトラブるし、と、これでもかとばかりに黒板家には不幸が訪れますが、やっぱり名作なんでしょうね。

有名なシーンに「子どもがまだ食っている途中でしょうが！！」があります。（詳しくはネットで検索してください）

私の次男（2003 年生まれ）がまだ小学 3 年か 4 年の頃、一緒に食事に行って、いつまでもモッサら、もっさら食っているので「早く食え」と言ったら、「まだ・・・」のセリフを言い返されて、「なんでそのセリフを知っているのか！！！」と、ものすごく驚いた経験があります。

※富良野には「子どもがまだ食っている途中でしょうが」ラーメンが売っているらしい。